



「活きていることわざ」

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】船橋市飯山満町1-836-5 ☎420-6511 FAX 424-8712
 ホームページ <http://www5e.biglobe.ne.jp/~hiroei/>
 Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

起きて半畳(はんじょう) 寝て一畳(いちじょう) 金城湯池(きんじょうとうち)

【起きて半畳寝て一畳】◇いたずらに富貴を望んであくせくするよりも、相応の満足を知るべきである。

・立派な御殿に住んでみたところで、一人が寝起きするのは、わずか半畳か一畳であり、それで足りる。

【金城湯池】◇きわめて守りが堅く、侵入されないこと。

・鉄で作った城壁と、熱湯を入れた堀でできた城の意で、きわめて防御の堅固な城ということから。

いよいよ梅雨の季節になりました。6月は本議会があります。ひょっとすると議長が交替するかもしれません。というのは、議長の任期は2年ですが、暗黙の了解で1年で辞表を提出して退任する慣習があるのです。多くの方に議長を経験してもらうためなのか、あまり良い慣習とは思いません。通常は議長職をめくり徹夜議会までして多数派工作するのに、先般の四街道市議会の議長回避騒動などは前代未聞でした。

船橋市議会で議長交替がありましたら、7月にその顛末(てんまつ)を掲載します。今月は「活きていることわざ」を読んだ方からの「お願い」への私の考え(①)と、3月議会での質問の残り部分(②③)をお伝えします。

①《飯山満駅の不法駐輪対策として、駅前(不法駐輪している所)に「地産の野菜と魚の直売所」を設けたら一石二鳥ではないか》



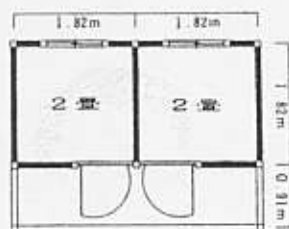
全くその通りです。不法駐輪を強制撤去することは簡単ですが、できるだけ利用者の利便性も考えて、改札口の反対側の店舗があった場所を駐輪場に貸して欲しいと東葉高速鉄道の本社にお願いしています。もちろん、市の交通安全課に交渉の窓口をお願いしました。もう少しお待ちください。



私が東葉高速鉄道と交渉している中で、この駅前を借用してイベント等に利用できないか聞いたことがあります。かなりいい感触でしたので、その方法も可能と思われます。その時は有効利用させてもらいましょう。

②生活支援とホームレス対策について再び質問しました。

他県や他市からホームレスを大挙して連れて来て入居させている簡易宿泊所が市内に3ヶ所ありますが、その部屋数と入居者数を聞きました。というのは、1部屋に何人も同居させて家賃を個別に徴収する行為の有無を間接的に確認したかったのです。



3ヶ所合計で134室に214人が入居していました。つまり1部屋に1.6人入居している計算です。なんとなくこの生活支援制度を悪用しているにおいがします。

また、市では国の指導もあり1人1部屋にしてもらうようにしている。とのこと。しかし、国の基準では1人の最低居住面積は3.3㎡なのです。なんと畳2枚の部屋でいいことになっているのです。これではもう独房状態です。つまり、6畳に独立した2畳の部屋2つと、それぞれの部屋をつなぐ廊下（畳2枚分）を作ればいいとなっているのです。「こんなことがあってもいいのか」と声高に言っても、相手が国となると私一人では力不足です。横になれば畳1枚で足りても、畳2枚で生活はできません。

そして、資格要件が厳しいはずの生活保護受給なのに、借り入れのない不動産を持っていても生活保護が受けられるこの矛盾を、市がその根拠としている「昭和38年の厚生省社会局長通知」に書いてあった「当該世帯の居住の用に供される最低限の土地・家屋の所有を認めて差し支えない」という文章を持ち出して、「差し支えない」とは「…ねばならない」ではなく「…しなくてもよい」と解釈できるではないか、と再度追及しました。



市の回答は、12月議会で質問した私の考え方に同感であり、国に対して生活保護制度の見直しを求める要望書を1月に千葉県市長会に提出した、とのことでした。不公平解消に一步前進しました。

③船橋市では4月から市内の4つの自動車教習所と提携して、高齢者の移動手段として、教習生の送迎バスの空席を利用した事業が始まりました。

私はこの新規事業に協力する事業者に敬意を表しながら、多くの方が希望する「医療センターや主要駅間のアクセス」の必要性を訴えました。

藤代市長から「医療センターへのアクセス要望が大変高いので、別な手段を考えていくので若干の時間が欲しい」と大変前向きな答弁を戴きました。「コミュニティバスは考えない」という行政側の『金城湯池』に風穴を開けたと嬉しくなりました。

